

ホーム名：グループホーム・フォレストガーデン					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念に掲げている『心あるケア』を念頭に各自が意識し、ご利用者様主体をテーマに実践に繋げている。	法人理念と同じく、「心あるケア」をグループホームの理念としている。入居者の立場に立った支援を行なえるよう主任が見本となって職員を指導している。会議時を利用して啓発に努めている。	理念が入居者・家族・来訪者にも伝わる様、目に付く場所への掲示をされたい。また職員も日々それを見る事で実践に繋げる努力をしていって欲しい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に地域の一員としての交流の機会が乏しく実施に至っていない。	今夏、地域の夏祭に数名が参加した。ボランティアの訪問が月1回、また中学校による吹奏楽の演奏が併設施設内で行われ、ホームからも参加し楽しんでいる。今後自治会に加入の予定である。	自治会への加入で、地域の一員として更に交流が深まる事を期待する。会合や地域活動等にも積極的に参加されたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて家人様や地域包括管理者・民生委員へ認知症の方への理解を報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常の認知症ケアの内容を報告し意見交換を通じ、サービス向上に努めている。	入居者代表・家族代表・地域包括支援センター職員・民生委員を構成員とし、併設施設・特養と共同で開催している。現状報告・今後の方針・意見交換を主な議題としている。開設後会議の開催が思う様に運んでいない。	運営推進会議の目的や必要性をよく伝え、幅広くより多くの出席を得られる様、またグループホーム独自の開催に努力されたい。議事録フォームの見直しと定期的な開催を望む。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	実地指導にて実績報告等実施している。	施設建築中から市担当者に相談。また助言等をして頂き、協力頂いている。	今後も市担当者とは協力関係を保ちながら、ホームの充実に繋げていかれたい。時には運営推進会議への出席を促し、実情を見て意見等を賜りたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	現在、帰宅願望出現時のみ、玄関を電子ロックにて施錠している。また、その旨、家人様へ報告済。	施設全体で毎月開かれる「身体拘束廃止委員会」に出席し、研鑽を重ねている。玄関他出入口は普段開錠しているが、帰宅願望が現れた時は施錠措置をとっている。夜間は安全対策の為施錠している。	現在、徘徊される方が数名おられるとの事。行動には必ず理由がある、と言う事を心に留められたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を実施している。虐待の種類や、慣れから生じる虐待等を防止できる様に、コミュニケーション方法を伝達し各自が意識向上に努めている。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、成年後見制度について学ぶ機会を設けていない。ご利用者様の人権について、常に、各自へ周知している。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時及び、事前面談の際、本人様や家族様の意向や願いを聞き取り調査を実施しニーズの実現に向けている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者や職員に対し常に意見を頂ける様に、家人様へは、ご利用者様の現状を密に報告している。</p>	<p>家族が話し易い環境作りを心掛け、面会時に進んで声かけを行っている。来苑が難しい家族には電話で様子を報告し、その折に意見や要望等も伺っている。家族からは支援に対しての個人的な意見が寄せられる事もある。</p>	<p>入居者に対し二人担当制（主・副）を配置している利点を活用してホーム便りや個人便り等の発行に繋げていくと、家族とのつながりをより発展できるものと考ええる。「意見箱」はグループホーム独自で設置されたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月1回運営会議にて運営状況を管理者より報告を受けている。また、職員からの意見を交え、話し合いの場を設け、邁進している。</p>	<p>主任は職員に親近感を持ってもらえる様な雰囲気作りを心掛けており、月1回の面談時に意見・提案・悩み等を聞く機会を持っている。職員の意見から、大人らしい季節感を感じる様な装飾に、と心掛けている。</p>	<p>入居者の立場に立った支援を念頭に、意見を出し合いながらより充実したホーム作りへと反映させていって頂きたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>査定項目を作成しており、月1回査定を提示し各自の課題を明確にし常にスキルアップを目指す様に取り組んでいる。また、勤務形態労働時間等、ゆったりとした流れを提示している。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に外部研修への参加。また、月1回、単元毎に分け、勉強会を実施している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>通所介護サービス、生活相談員と認知症対応型共同生活介護の職員と連携を密に図り、ご利用者様にニーズに添える様に取り組んでいる。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>常に、ご利用者様の思いと要望に傾聴し安心して頂ける様に職員とご利用者様と関わりを密に図っている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家人様面会時、ご利用者様の現状報告を行うと共に、家人様の思いを聞く様に努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>通所介護サービスとの連携により、集団での楽しむ環境作りの場へ交わり、対応に努めている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の空間の場に於いて、『職員』と『ご利用者様』との関係の中で、笑顔がでる親密な関係になれる様に努めている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご利用者様への支援として、温かみのある親密に関係を築ける様に取り組んでいる。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家人様のご友人様や家人様の面会の機会を継続的に支援できる様に声掛け実施している。</p>	<p>家族の協力で、馴染みの美容院に通われている方がおられる。家族の力による所が大きい。</p>	<p>外出時に思い出の場所を巡ったり、利用していた店を訪れるなど、馴染みの場所や人との関係継続の支援を引き続き努められたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご利用者様同士、会話をできる場や昔話を話し支え合う場が多く見受けられており、職員も一緒にコミュニケーションの場を多く持ち支援している。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご友人様や家人様との関係を継続できる様に、相談や会話を密に図っている。また、本人希望の際は、電話等利用し会話している。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	グループホームでの生活上での本人様の思いを聞き、常にご利用者様主体で物事を捉えている。	コミュニケーションを取る事を大切にしている。表情・仕草・動きのサインを見逃さない様にと指導している。	コミュニケーションの取り方を職員同士で演習を行いながら実践に向けているとの事。心を通わす事を第一に、今後もレベルアップに努められたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居前の生活状況等把握し極力近づける様に、本人様の訴え等に配慮しより良いケアを提示できる様に取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者1人1人の1日の流れを関わりや様子を観察し状態把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当者を2名設け、心身状況を把握し周知している。また、定期的にカンファレンスを実施し本人様がより良く過ごせる様に意見交換等実施している。	主任・主担当・ケアマネジャー3人で話し合い、往診結果を踏まえ介護計画を立てている。介護計画の見直しは3カ月毎に、長期目標6ヶ月・短期目標3ヶ月で設定している。	職員二人担当制を活かし、より入居者個人個人に即した介護計画で、毎日生き活きと過ごせる支援をして頂きたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録に残し、日誌やケース記録・介護計画の参照し常に、ご利用者様の状態を把握している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のご利用者様の要望等をコミュニケーションにて情報をとり、本来望んでいる事に近づく様に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	時折、近隣のスーパーへの買い物支援試みるも拒否にて困難傾向にあり、実施に至っておらず。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回主治医による往診実施。また、常に、心身状況を上申し連携を密に図っている。	契約医師による診断治療の他、歯科医による口腔内管理にて治療が必要な場合、早い対応ができています。日常的にも症状変化の対応ができています。	信頼関係にある医療との連携で認知症に対する相談もできている等、今後共、一人ひとりの情報が共有され、介護に活かされることを期待する。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>現在、看護配置はなく、状況に応じ、また、本人様・家人様が希望の際、訪問看護を利用している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>救急時の受け入れの有無確認及び、急変時、情報の提示を密に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医・家人様と密に連携を図り、終末期に向けたケア内容と要望をディスカッションしている。</p>	<p>開設1年半で看取りの経験をしている。今後も希望に応じていきたいと管理者もスタッフも考えている。</p>	<p>初めての看取りは、開設2番目の入居者であった。馴染みの関係が入居者・家族の希望に応えた。思い出づくりをした職員の中には複数の看取り経験者が大きな役割を果たしていると思われる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AED使用方法や急変時に備え、勉強会を通じ、各自が実践にて急変に備えている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練実施している。</p>	<p>事業所の併設施設と一緒に訓練実施している。災害時用の備蓄品は確保されていない。</p>	<p>介護度の高い入居者であっても具体的な訓練で困難な避難方法の確認が想定されなければならない。夜間時を想定した訓練、地域の一員として、職員だけの対応でなく地域ぐるみで協力できる体制を含め検討されるよう期待する。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>『人生の先輩』である事を念頭に置き、尊厳の姿勢を持ち、温かみのある言葉掛けに配慮している。</p>	<p>言葉かけは同じ目線、笑顔で話しかけ、安心感をもってもらえるコミュニケーションに心掛け、居室への入室時の声かけ、私物整理等は入居者と一緒にやっている。</p>	<p>排泄支援は自室のトイレでありリラックスできる環境にある。同性介助が困難な時も緊張感を意識させないよう具体的な支援手法に心掛けている事など、入居者の安心感が伺える。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>声掛けの際、本人様の意向や思いを聞き支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご利用者様主体を常に忘れず1人1人が自分のペースで過ごせる様に支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>更衣の際は、本人様に衣類の組み合わせを聞き、対応している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>現在、毎食の準備はご利用者様と一緒に行っていない。定期的におやつ作りや食事レクの際、職員と一緒に作り楽しんで頂いている。</p>	<p>調理された食事が届き、盛り付け、入居者の状態に合わせて手を加えている。検食チェックもされている。食事レクでは何が食べたいか入居者の希望を聞き計画した。たこ焼きは大好評だった。</p>	<p>一人ひとりの状態、認知症の深まり等でテーブル席の工夫、配慮で食事介助がされていた。食べることは生きること。入居者への適切な介護が継続できることに期待する。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分量は、主治医より基準量を提示されており、基準量を超える様に、声掛けや集団での食事で食欲を生み出し支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケア実施している。また、週1回、訪問歯科受診にて口腔内の洗浄及び保清に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排尿リズムの把握やご利用者様の表情やサインに目を向け、トイレでの排泄に努めている。</p>	<p>自室までのトイレ誘導、排泄確認で紙パンツから昼間は布パンツ使用にし自立支援に繋いでいる。夜間睡眠時のみ、おむつ使用者もいる。</p>	<p>自立排泄の継続が困難になっても、これまでの習慣を支援することは基本の介護と思われる。時間がかかっても1人ひとりのペースに寄り添った支援継続を期待する。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>滞便3日目よりドクターへ上申し下剤調整や、トイレでの排便を促し軽度の運動を取り入れ便秘防止に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご利用者様の希望や要望を全面的には実現までは至っていない。入眠前に入浴実施し自宅での入浴時間帯を取り入れている。</p>	<p>開所時より入居者のこれまでの生活習慣の継続として、夕食後の入浴支援を行っている。入浴拒否の入居者に対して長期にわたりケアのあり方を話し合い努力中である。車椅子生活者も複数介助で一般浴槽で支援が続けられている。</p>	<p>広い浴室、脱衣スペースも十分確保され、整理整頓されている。入浴剤で温泉浴等、楽しんでいる様子がある。夕食後の時間帯に入浴することで熟睡導入となり、朝までぐっすりの方が多いため。職員の勤務シフトが入居者の生活を安定し、支えている。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ご利用者様、個々の入眠時間の希望に合わせて入眠促ししている。施設とし、21時30分を消灯時間と設けている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ご利用者様や家人様へ主治医より説明の後、服用している。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>定期的に気分転換を図れる様に外部へのが出支援やユニット内でのレク提供している。また、洗濯物たたみ等、職員と一緒にやっている。</p>		
49	18 <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>家人様の協力を得て、面会時や定期的に外部への外出支援実施している。また、定期的に職員同行の下、外出支援を実施している。</p>	<p>日常的な外出支援はできていないが年間計画は実施している。</p>	<p>室内での生活から、一日に一度、外気に触れる機会をつくり入居者と五感を共有できる計画実行を期待する。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご利用者様が所持しているお金もあり、また、物品購入時に伴うお金は施設管理している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>たまにはあるが、携帯を使用し会話する事がある。</p>		
52	19 <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じられる様に、ユニット内の装飾をしている。また、心地よく過ごせる様に、定期的にユニット内の設えをご利用者様と一緒に考案し設置している。</p>	<p>コノ字型に居室、フロアの中心にソファ、テレビ、2カ所のテーブルが置かれている。テーブル・ソファで静かに過ごしている入居者の様子がある。</p>	<p>訪問中、入居者の行動を見学、会話を持つことが出来なかった。フロアから外の景観採光が制限され、暗い雰囲気が印象に残った。照明の工夫の検討が考えられているようだが生活の場として、環境整備に期待する。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自分のペースで過ごせる様に配慮している。</p>		
54	20 <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた、寝具類、家具を持ち込んで頂いている。</p>	<p>各居室にはトイレが設置されている。昼食後の昼寝は居室で1時間とることが多い。ベッドはレンタルが希望できる。</p>	<p>居室が自分のスペースとなるよう、カレンダー・時計等は最低生活必需品として設置し、日々のコミュニケーションとして活用されたい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室はご利用者様1人1人が過ごしやすい様に配慮している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない